



みんなもうい
街も、家族も、
わたしの心も

港に 灯が ともる

THE HARBOR LIGHTS

富田望生

伊藤万理華
青木柚
山之内すず
中川わさ美
MCNAM
田村健太郎
土村芳
渡辺真起子
山中崇
麻生祐未
甲本雅裕

世界メンタルヘルスデー2026企画
映画『港に灯がともる』全国縦断上映プロジェクト
“もろさ”を認めあう社会へ



監督・脚本:安達もじり 脚本:川島天見 音楽:世武裕子
エグゼクティブプロデューサー:大角正 プロデューサー:城谷厚司 堀之内礼二郎 安成洋
制作:ミナトスタジオ 特別協力・配給:一般社団法人 全国映画センター
写真:平野愛 ©Minato Studio 2025 年 / 119 分 / 日本

大事なもんは 時間がかかるわー

不格好でも迷っても、少しずつ、少しずつ。
わたしと家族とこの町の再生への通過点。

神戸で、在日コリアン家族の下に生まれた金子灯（富田望生）。

在日の自覚は薄く、震災の翌月に生まれたことで被災の記憶がない灯は、

父（甲本雅裕）や母（麻生祐未）からこぼれる家族の歴史や

震災当時の話が遠いものに感じられ、どこか孤独と苛立ちを募らせている。

一方、父は家族との衝突が絶えず、家にはいつも冷たい空気が流れていた。

親戚の集まりで起きた口論によって、

気持ちは昂り「全部しんどい」と吐き出す灯。

そして、姉・美悠（伊藤万理華）が持ち出した日本への帰化をめぐり、

家族はさらに傾いていく。

ある日、感情のコントロールを失い声を上げて泣いてしまふ灯。

薬をもらう病院通いだけでは一向に心は回復しなかった。

そんな時、高校時代からの親友（山之内すず）にある診療所を紹介される。

彼女の母親も震災以降、PTSDを抱え続けていた。

診療所で泣きながら「なんで生きているのか」と吐露する灯に、

医師（渡辺真起子）が静かに声をかける。

「金子さんのつらさが何なのか、一緒に考えてみませんか」

一回復を目指していく中で希望を探し続ける日々。コロナ禍も経て、

いろんな人と出会い、支えられ、心を通わせ、家族とも向き合い、

灯は長い時間をかけて人生にかすかな光を見出していく。

本作は高校卒業から12年間に及ぶ主人公の模索の日々を、表情豊かな神戸の街を舞台に繊細に紡いでいく。主人公の灯の苦しみや葛藤、成長を見事に描き切ったのは今作が初の映画主演作となる富田望生。監督は、20年以上にわたり、NHKの演出家として、「カムカムエヴリバデー」など数々のドラマを手掛けてきた安達もじり。神戸で暮らす人々の膨大かつ綿密な取材を基に、震災後をリアルに描くオリジナルストーリーを作り上げた。「声なき声」とその苦しみ、に耳を傾けようとする作品である。



©Minato Studio 2025年/上映期11月9日

港に 灯が ともる

THE MARCH LIGHTS

大きな災害によるトラウマは、いくつもの対立や矛盾をよりいっそう露わにし、新たなトラウマへとつながっていく。そして、国家間の戦争が、過去から現在までどれほど家族における問題に深く影響しているか。これらが主人公である女性の苦悩をとおしてみごとに描かれた作品である。何よりすばらしいのは、家族を超えた新たな共生と再生の兆しが主人公をとおして静かに浮かび上がってくることだ。

信田さよ子 さん（公益社団法人 日本公認心理師協会 前会長）

推薦 一般社団法人 日本臨床心理士会 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会 公益社団法人 日本公認心理師協会 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会
後援 公益社団法人 日本社会福祉士会

世界メンタルヘルスデー2026企画 映画『港に灯がともる』全国縦断上映プロジェクト “もろさ”を認めあう社会へ

日時／2026年10月25日(日) ① 午前10:00～午後 0:50 ② 午後2:30～午後5:20

会場／ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697）

各回上映後に、映画プロデューサー安成洋さんと茨城県精神保健福祉センター長の佐々木 恵美先生によるアフタートークを予定。

【前売券】1,200円 一般：1,500円／高校生以下：800円／悠悠映画塾会員：1,200円

※チラシ持参で一般当日券1,300円に割引 ※チケット発売／9月11日（金）～

前売券発売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター

【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156（土・日・祝日を除く午前10:00～午後5:00）

※二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

●主催 ●（有）茨城映画センター ●共催 ●茨城県ユニセフ協会 ●後援 ●茨城県精神保健福祉士会

●協力 ●（一社）全国映画センター、茨城県精神保健福祉士会

●問合先 ●茨城映画センター TEL：029-226-3156（土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00）

